



**研究課題名** ポストコロナの教育格差研究: 世界的課題の解明とオンラインでの調査・実験手法の革新

慶應義塾大学・経済学部・教授

あかばやし ひでお

赤林 英夫

研究課題番号: 21H04982

研究者番号: 90296731

研究期間: 令和3年度-令和7年度 研究経費(期間全体の直接経費): 145,900千円

キーワード: 新型コロナパンデミック、教育格差、遠隔調査と実験、国際比較

**【研究の背景・目的】**

新型コロナウイルスパンデミックは、日本を含む国際社会を大混乱に陥れた。多くの経済活動や社会活動が縮小もしくは中止に追い込まれたが、長期的な影響が懸念されるのが、学校の閉鎖や学習や活動の変化を通じた次世代への影響だ。

昨年3月からの臨時休校と緊急事態宣言により、すべての学校は一定期間閉鎖され、子供をとりまく環境は一変した。第一に、一定期間、学校教育は家庭に頼らざるを得なくなった。第二に、子供の活動が大きく変化した。第三に、家庭の情報収集活動がインターネットやSNSにシフトした。第四に、学校外教育もオンラインに大きく変化し、家庭の情報環境が学校外活動へのアクセスをも左右することになった。

私たちはこれまで、独自に開発した日本子どもパネル調査(JCPS)を使い、子供の成長や学力の変化を分析し、政策効果の検証(Naoi et al, 2021)や家庭の経済格差と子供の教育格差の連関の国際比較(Akabayashi et al, 2020)、さらに子供を対象としたラボ経済実験も開拓してきた。しかし今後は、社会のオンライン化による格差拡大の解明と解決に重点を移す必要がある。

研究手法の革新も必要だ。コロナ禍では大学でのラボ実験は困難となった。オンラインで経済実験も存在したが、子供に対して統制されたりリモート実験環境を用意することには困難が多い。しかし、コロナにより多くの子供がオンライン環境に親しむこととなった状況を踏まえれば、オンラインでの調査・実験の方法論的革新を進める契機ともいえる。

そこで本研究では、統一的に構築された子供の全国サンプルを複数用意し、伝統的アプローチを見直し、親子を対象とした調査や実験研究をオンラインで実施する手法を新たに開発する。それを通じ、コロナ禍が子供の学力、非認知能力、行動等に与えた因果的影響を、国際比較を通じて検証、ポストコロナの教育格差に関わる世界共通の課題の解決の糸口を探る。

**【研究の方法】**

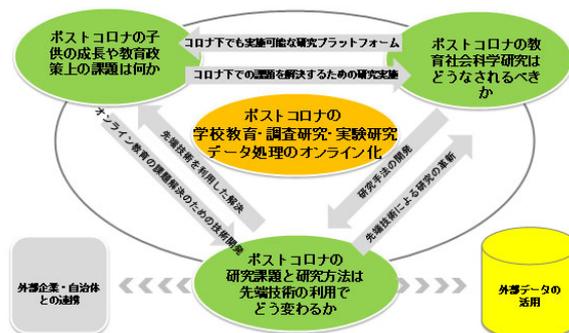
本研究の目的達成のために、統一的に構築された子供の調査対象者プラットフォームを構築する。

まず、全国の子供のランダムサンプルを構築し、異なる目的の調査対象コホートを定義する。①「一般コホート」では、調査対象者の同意の下、学校の情報や居住地情報を収集し、精密な分析に堪えるデータにする。②「活動記録コホート」には年に数回、子供の活動を記録してもらう。③「介入コホート」では、親や子供をランダムにグループ化し、異なる介入の効果を計測する。④「経済実験コホート」では、遠隔から実

験研究を可能にする体制とシステムを構築する。

以上の研究手法の革新を可能にするためには、先端的技術を可能な限り利用する。

下図は本研究課題で研究の枠組みを示すが、具体的には、コロナ以降の教育格差と家庭背景の相関の変化の国際比較を行い、ICT利用などの教育政策が子供の学力や行動にもたらした効果、子供の日常活動が発達や心理に与える影響、親の持つ情報と子供や親の行動の関係等を解明する。



**【期待される成果と意義】**

本研究は、新型コロナウイルスパンデミックにより突然発生した、子供の学習や成長、そして研究手法上での過去に例を見ない困難に対し、先端的オンライン技術を活用し、解決の突破口を見いだそうとするものである。同時に、コロナ後の子供の教育格差の変化について、アメリカ、ヨーロッパ諸国、東アジア諸国との比較を行い、日本だけでは解明できない文化・政策的背景の役割の発見につなげる。

以上を通じ、ポストコロナの子供の格差研究の革新の道筋を社会や学界に発信する。

**【当該研究課題と関連の深い論文・著書】**

- ・ Naoi, Akabayashi, Nakamura, Nozaki, Sano, Senoh, & Shikishima. 2021. "Causal Effects of Family Income on Educational Investment and Child Outcomes: Evidence from a Policy Reform in Japan." J. Japanese and International Economies, 60. 101122.
- ・ Akabayashi, Nozaki, Yukawa, & Li. 2020. "Gender Differences in Educational Outcomes and the Effect of Family Background: A Comparative Perspective from East Asia." Chinese J. Sociology. 6(2) pp.315-335.

**【ホームページ等】**

<https://creoc.keio.ac.jp/>  
慶應義塾大学経済学部附属経済研究所  
こどもの機会均等研究センター